

2024

SPRING

春号

まだ知らない香川を
旅する小冊子

TRAVEL
KAGAWA

トラベルカガワ

春のおでかけ

ジオツアーリズム

三豊市紫雲出山(しうでやま)・山頂第2駐車場から見る備讃瀬戸



かがやくけん、かがわけん。

香川県

travel.my-kagawa.jp



春のおでかけ

ジオツーリズム

日本一小さな香川県は、国内でも特徴的な“ジオサイト※”が点在するジオの宝庫！さらに、2024年は瀬戸内海国立公園に指定されて90周年となります。個性豊かなジオサイトを巡り、多島美景を生み出した大地の歴史に触れてみませんか。春ならではのグルメや絶景スポットもご紹介します。

※地球の活動を感じることができる地形や地質の名所

唯一無二のストーリーを持つ 香川県のジオサイト

香川はジオヒストリーが凝縮した地

香川県には、3回の地球的大変動によってできた地質や地形が凝縮した、世界にもまれな景観があります。

1回目は約1億年前。地球規模での大変動が起き、瀬戸内海地域一帯に広がる花崗岩がつけられました。

2回目は約1,400万年前の「瀬戸内火山活動」。通常地下で冷え固まるマグマが多数地表に噴出したことで、美しいミニ富士（おむすび山）や小豆島の寒露渓、屋島といった讃岐特有の景色が形づくられました。

3回目は約300万年前から始まりました。フィリピン海プレートの沈み込み方向が変化したため、四国を東西に貫く中央構造線を境に大きな横ずれが生じました。その結果、瀬戸内海が陥没、讃岐山脈が隆起し、今の香川の地形がつけられました。



大地の変動を感じるジオサイト

そんな香川県には魅力的なジオサイトが多数点在しています。例えば三豊市庄内半島の紫雲山（表紙参照）は瀬戸と灘の境にあるイチ押し^{しょうやま}のビュースポット。東側には塩飽諸島の多島美^{しよんぱう}が広がり、丸亀平野に目を向ければ飯野山^{いひのやま}などのおむすび山^{おむすびやま}が一望できます。

小豆島三都半島の権現崎ではマントル直結安山岩というマグマが花崗岩に貫入している境界を見ることができます。ここは、どのように大陸ができたかという地球規模の謎を解く大きなカギとなる場所。まさに世界に誇るべきジオサイトです。

一つひとつの何気ない風景にも悠久の歴史ドラマが潜んでいます。ぜひジオ的視点で香川県を旅してみてください。

※「瀬戸」は島が多く潮流の速い海域、「灘」は島が少なく穏やかな海域。「瀬戸」と「灘」が交互に分布している瀬戸内海のシワのような地形は300万年間にわたる中央構造線の横ずれによってつけられました



教えてくれた人

香川大学
四国危機管理教育・
研究・地域連携推進機構
長谷川修一 特任教授



讃岐ジオパーク構想推進準備委員会委員長。専門は地質工学、地盤災害、地域防災。近年では県内各地を歩いて地形や地質を学ぶ「ジオツーリズム観光」の開発や防災教育に注力。NHK「プラタモリ」などにも出演

アクセスマップ



“ジオツーリズム” をもっと楽しむ！

ガイド情報

讃岐ジオガイド

香川大学の養成講座を受講した認定ガイドが県内各地のユニークなジオサイトを紹介

お問い合わせ/
sanukigeo@gmail.com
(讃岐ジオパーク構想推進準備委員会 / 鶴田)



おむすびハイク OMUSUBI HIKE

四国山岳ガイド協会所属の登山ガイドが里山や島しょ部のジオサイトを訪ね歩くハイキングツアーを実施

お問い合わせ/
omusubi.hike@gmail.com
(登山ガイド / 水沼)



かがわまち歩き てくてくさぬき

地元ガイドと一緒に歩いて香川を発見！体験！



五色台 & 周辺エリア

高松市と坂出市の間に位置する五色台は、その名の通り5つの峰からなる台地状の「メサ」で、瀬戸内海の多島美を望む絶景スポットでもあります。



大崎の鼻より

ジオ的 POINT

五色台のメサは、瀬戸内火山活動で噴出した安山岩溶岩でできています。メサとは侵食によって形成されたテーブルのような台地のこと。県内には他に、こんぴらさんのある大麻山(象頭山)や屋島も同様の地形です。さらに、希少な石「サヌカイト」がまとまって分布している世界唯一の場所。坂出市の金山や城山にも分布しています。

絶景・観光スポット

五色台の北端・大崎の鼻からは、大槌・小槌の小島を経て対岸の岡山県がすぐ間近に見えます。さらに、山上の瀬戸内海歴史民俗資料館や休暇村讃岐五色台からは備讃瀬戸の美しい景色を堪能でき、ドライブコースとしてもおすすめです。



海に囲まれた暮らしに思いをはせる

木造船や漁撈用具をはじめとする暮らしの道具、祭礼のための用具など瀬戸内地域全域の貴重な民俗資料を多数展示。山本忠司氏の設計で1973年に開館した建物は、各種の建築賞を受賞し高い評価を受けています。“海賊の城”のような外壁は、整地の際に出た五色台の安山岩を積み上げたもの。屋上展望台からの眺めは絶景！

瀬戸内海歴史民俗資料館

高松市亀水町1412-2 / tel. 087-881-4707 / 9:00～17:00 (最終入館16:30) / 月曜定休 (祝日の場合開館、翌日休) / 観覧無料 / P30台 (バスは要事前連絡)

COLUMN

サヌカイトって？

讃岐(SANUKI)の名を冠したサヌカイト(SANUKITE)は、非常に硬いガラス質で、割ると簡単に切れ味鋭い石器となるため、縄文時代から弥生時代にかけては瀬戸内海地域だけでなく、高知県や日本海まで広く流通していました。香川県では「カンカン石」とも呼ばれ、その透き通った音色から楽器に使われることもあります。



奇岩のつくる不思議な光景

国分寺から根香寺へと北上する遍路道の道中にある、通称「白い壁」と「国分寺カッパドキア」。五色台の地下にはカルデラが隠れており、それを構成する白い凝灰角礫岩が著しく変形して立っています。そびえ立つ白い岩壁を登ると、キノコ形の奇岩が点在する特徴的な景色が広がります。

高松市国分寺町国分 / 石鎚休憩所手前にP10台程度
※登山道を登るため服装・安全にご留意ください



白い壁



国分寺カッパドキア



おみやげ&グルメ

日帰り入浴やランチ・カフェの利用も



五色台山上に位置するリゾートホテル。宿泊のみならず、瀬戸大橋や夕日を眺めながらの日帰り入浴や、カフェでは季節の果物を使ったパフェも楽しめます。売店では「サヌカイト」の美しい音色を活かした風鈴やチャームを販売しています。

休暇村讃岐五色台 / 坂出市大屋町3042 / tel. 0877-47-0231 / 日帰り入浴 11:00～16:00 (水曜13:00～)、ランチ 11:30～14:00 (土日祝のみ営業、L.O.13:30)、カフェ 10:00～17:00、売店 7:00～20:30 / 年中無休 (年2回の休館日あり、その他急なメンテナンス等が入る場合あり) / P100台 (大以下10台)



古民家でさぬき時間を楽しむ



国の有形文化財に登録された築110年の古民家をリノベーションした空間で、体に優しい発酵食ランチやスイーツをいただけます。カフェの隣にある「はなれ」は1日1組限定のゲストハウスとなっており、ゆったりとした時間を過ごせます。

旧南原邸 / 高松市亀水町610 / tel. 087-880-9840 / 11:00～17:00 (L.O.ランチ14:00、カフェ16:30) / 水、木曜定休 (祝日は営業) 夏季、年末年始休有 / P20台



屋島 & 周辺エリア

屋根のように平らな形の屋島。古代には山城が築かれ、後に源平合戦の舞台になるなど歴史的に重要な場所で、1934年にはメサの典型として国の天然記念物に指定されました。対岸の庵治半島には五剣山がそびえ、最高級石材「庵治石」の産地としても知られています。

ジオ的 POINT

典型的なメサ地形の屋島。側面のなめらかな勾配部分は花崗岩、その上の崖に露出する岩盤は硬い安山岩溶岩でできています。一方の五剣山は花崗岩の上に白い凝灰岩、ごつごつとした火山角礫岩が重なってできています。全く異なる岩石からできており、見た目も対照的な2つの山は、様々な見どころが集まる観光スポットでもあります。



絶景・観光スポット

瀬戸内海に突き出た屋島・庵治半島からは、風光明媚な瀬戸内海の景色を一望でき、周辺には観光スポットも充実。庵治石産地一帯は迫力ある採石地と五剣山を背景に、どこかゆったりとした時間が流れています。



1 獅子の霊巖

屋島山上、やしまーの横にある展望スポット。夕焼けから夜景へと移り変わるさまは絶景です。源平合戦の伝説にちなんだ「かわらけ投げ」に挑戦し、開運・厄除けを祈願してみましょう！

高松市屋島東町 / P387台 (大以下6台 / 高松市屋島山上観光駐車場)



3 竹居観音岬

四国本土の最北端にあたり、竹居観音寺の境内に位置します。大小の島々を眺めながら海際の参道を進むと、花崗岩の巨岩にそびえる鳥居にたどり着きます。さらに奥に進むと、荘厳な岩窟が現れます。

高松市庵治町5340-1 (竹居観音寺境内)



2 四国村わら家

江戸末期の民家などを移築した、わら葺き屋根のうどん店。たらいいっぱい熱々の釜揚げうどんを秘伝のつけ出汁で味わって。隣接する「四国村ミュージアム」の散策もおすすめです。

高松市屋島中町91
tel.087-843-3115 / 9:30 ~ 18:00 (L.O 17:30) / 年中無休 / P155台+大5台



“花崗岩のダイヤモンド” 唯一の産出地

庵治半島にそびえる五剣山は、ギザギザとした4つの峰が特徴です。かつて南東にはさらに2つの峰がありましたが、1707年の大地震で崩落したと推定されています。付近で採れる庵治石は細粒の花崗岩で、その模様ときめ細かさ、耐久性の高さから最高級石材として重宝されてきました。ふもとは今も多くの職人が集住し技を受け継いでいます。

AJI PROJECT

従来の庵治石のイメージを刷新する、デザイン性の高いインテリアやオブジェを展開。産地で培われた職人の高い技術が活かされています。

株式会社蒼島ショールーム / 高松市牟礼町牟礼3195-1 / tel. 087-814-3890 / 11:00~17:00 / 火・水・金・土曜営業 (その他は要事前連絡)



採石場見学ツアー

採石場を見学し、気に入った原石をピックアップ。職人が「ROCK END」へと仕上げる。工場見学も可

[開催] 通年 / 要事前予約 (株式会社蒼島) ※雨天中止 ※通常時の一般の立入は厳禁

あじストーンフェア2024

2024年度は6月8日(土)・9日(日)に開催！庵治産地の石材業者らが一堂に会するイベントです。

[会場] サンメッセ香川

※詳細は讃岐石材加工協同組合HPをご確認ください ▲



3 竹居観音岬



4 純愛の聖地庵治・観光交流館

海と山に囲まれたレトロな館は、映画『世界の中心で、愛をさけぶ』のロケセットを復元したもの。館内のカフェ「寫真(しゃしん)館の珈琲」ではコーヒー、パンケーキやカレー等の軽食をいただけます。

高松市庵治町5824-4
tel.087-812-2270 / 9:00~17:00 (入館終了16:30) / カフェ10:00~16:00 (L.O 15:30) / 火曜定休 / 入館料無料 / P10台 (バス要事前相談)



東かがわ エリア

東かがわ市の海沿いはジオサイトの宝庫。柱状節理※やランプロファイア岩脈など、独特な景観を至るところで見ることができます。また近世には和盆や醤油の産地として栄え、今なお当時の面影を残す引田周辺のまち並み散策もおすすめです。

※溶岩がゆっくり冷え固まることで生じる、規則正しい多角形の柱のような割れ目

ジオ的 POINT

市北部は約1億7千万年前の花崗岩、南部は約7,000万年前の「和泉層群」からなる東かがわエリア。絹島と丸亀島では1,400万年前の玄武岩の見事な柱状節理を見ることができます。また、鹿浦越では白い花崗岩に黒のランプロファイア岩脈が貫入し、美しい縞模様を見せています。いずれも国の天然記念物です。



絹島

（海からしか見られない
絶景を船旅で！）

東かがわ市沖の様々なジオサイトを巡る約2時間のツアー。ランプロファイア岩脈はもちろん、山を切ったような巨大な露頭※・引田不整合や、悲恋の伝説が残る女郎島、それぞれ違った柱状節理が見られる丸亀島と絹島、海食洞がある一子島など、見どころ満載です。

※野外で地層や岩石が露出したところ



鹿浦越



一子島



絹島

SUPで絹島に大接近！

瀬戸内海を望む高台にある温泉宿泊施設・ベッセルおおち。SUP体験では絹島付近までボードを漕ぎ、迫力ある柱状節理を間近で見上げることができます。

NPO法人東かがわ観光船協会 / tel.090-5718-3534 / 5～9月の土日祝のみ運航（天候不良の場合中止）／大人4,000円、小学生2,000円、幼児無料（2名以上で出航、4日前までに要予約）／Pあり



瀬戸内リゾートベッセルおおちSUP体験／東かがわ市馬蓑1200 / tel.0879-26-1126 / 7～9月開催予定（気候により10月も開催）／料金未定／P350台 ※詳細は施設にお問い合わせください



絶景・観光スポット

東かがわ市は近世以降、醤油・酒の醸造や和盆の製糖で栄えました。引田周辺にはかつての間屋や商家などの古いまち並みが残り、商港として栄えた面影を今に伝えています。

歴史的建造物が建ち並ぶまちを散策

かつての繁栄の様子が偲ばれる、趣向を凝らした商家や、レトロモダンな旧引田郵便局などの建物が多く残っていて、ちょっとしたタイムスリップ気分が味わえます。観光の拠点「讃州井筒屋敷」では、母屋の見学や和盆型抜き体験、食事などができ、希望すればボランティアガイドが無料で屋敷内や周辺のまち並みを案内してくれます。

引田のまち並み

東かがわ市引田 / tel.0879-26-1276（東かがわ市地域創生課）／[讃州井筒屋敷]／東かがわ市引田2163 / tel.0879-23-8550 / 10:00～16:00（母屋）／水曜定休（祝日の場合営業）／入場無料（母屋のみ高校生以上300円、中学生以下無料）／P114台



おみやげ&グルメ

魚とふれあう複合体験施設



世界で初めてハマチ養殖に成功した安戸池（あどいけ）に隣接。釣りやエサやり体験、展示フロアやレストランがあり、ハマチ養殖の歴史と今を楽しむことができます。ハマチへのエサやりは迫力満点！釣り堀では大物がかるかも!? レストランでは新鮮なハマチを使った刺身定食やハマチ丼をいただけます。

ソルトレイクひけた / 東かがわ市引田4373 / P50台（大3台、中4台、マ5台） / tel.0879-33-2800
[フィッシュフック(釣場)] 料金は季節・時間帯などによって変動
[マレリッコ(体験学習館)] 9:00～17:00（最終入館16:00）／火曜、年末年始定休 / 4歳以上100円ほか
[ワーサン(特産品ショップ)] 7:00～16:00 / 1/1～1/2定休
[ワーサン亭(レストラン)] 10:30～13:30 / 火曜、年末年始定休
※各施設とも詳細はHPをご確認ください



ハマチの町で味わうとろけるようなづけ丼



ハマチ養殖発祥の地にある老舗。名物は引田産のハマチを、地元の醤油を使った特製タレにじっくり漬け込んだハマチのづけ丼セット。漬け込むことで柔らかくなったハマチは、旨味だけを凝縮した極上の味。要予約なのは、魚の旨味を引き出す時間を計算して漬け込んでいるためだそう。

桃山ひろせ鮮魚 / 東かがわ市引田2531 / tel.0879-33-3119 / 要予約（営業時間は予約時に応談） / 月曜定休 / Pあり

東かがわのジオグルメ！ハマチ&ブリ

周囲を砂州に囲まれた浅い海水池・安戸池。天然のいけすのような恵まれた地形ゆえに、ハマチ養殖が成功しました。

綾川 エリア

香川県の中央に位置する綾川町。平安時代には讃岐国府にほど近い立地から、現在の滝宮天満宮付近に讃岐国司・菅原道真公の別館が置かれました。豊かな綾川の流れて沿ってのどかな田園地帯が広がり、「讃岐うどん発祥の町」としても知られています。

ジオ的 POINT



町名にもなっている綾川は、県内の河川には珍しく水量が豊富。その流れは時代によって変遷し、現在は町の中心にあたる滝宮付近で屈曲しています。町内には「讃岐七富士」に数えられる高鉢山・堤山をはじめ、おむすび型の山が点在し、のどかな景色をつくりだしています。

究極のジオグルメ！ 讃岐うどんの秘密

“讃岐うどん発祥の町”と称されることもある綾川町。ぶらりと町を散策しながら、香川県にうどんが根付いたジオヒストリーを振り返ってみましょう。

歴史
1

讃岐山脈が誕生

約300万年前からの中央構造線の活動で讃岐山脈が誕生！四国山地と讃岐山脈、2つの山なみが少雨晴天の気候をもたらした



歴史
2

讃岐平野に扇状地ができた

讃岐山脈の隆起によって、平野部に水持ちの悪い扇状地が多数誕生。水不足に適應すべく、稲の裏作で小麦栽培が根付いた



歴史
3

ジオの恵みが詰まった郷土料理に！

裏作の小麦、扇状地を流れる伏流水、少雨晴天を活かし作られた塩と醤油、穏やかな灘で採れたいりこ※が出会い、讃岐うどんになった



※讃岐うどんの出汁に欠かせない、カタクティワシの煮干し。県西部に広がる幾灘（ひうちなだ）の伊吹島（いぶきじま）が産地として著名

さらに…綾川発祥説の理由

唐から伝わったうどんの原型を、空海の甥・智泉が滝宮で両親に振る舞ったのが讃岐うどんの起源とも。

1

綾川では豊富な水量ゆえに水車での製粉が盛んだったこと

2

滝宮は綾川を利用した水上交通や金毘羅街道の要衝にあたり、多くの旅人で賑わったこと

から、この地のうどんが広まっていったと伝えられています。



綾川の河床は花崗岩のため、水が染み込みにくく水量が多い（写真は滝宮公園近く）



滝宮天満宮付近は、近世には門前町・宿場町として大いに栄えた

滝宮天満宮／綾歌郡綾川町滝宮1314／tel. 087-876-0199／参拝受付9:00～16:00（16:00以降要連絡）／P10台



おみやげコーナー

うどんといちごがたっぷりの道の駅



本館内にはいちご専門スイーツ店、農産物直売所、セルフうどん店があり、お土産用讃岐うどんは県内一の品揃え。銘菓の限定いちご味なども充実しています。また、3月15日（金）にはうなぎ専門店が開店予定。隣接するいちご農園では、県オリジナル品種の「さぬきひめ」が30分間食べ放題。採れたていちごのお土産販売もあります。

道の駅 滝宮／綾歌郡綾川町滝宮1578／火曜定休（祝日の場合営業）／P83台（大4台）第2P68台
[本館] tel.087-876-5018／9:00～17:00
[いちご農園] tel.087-876-3361／10:00～15:00／1月頃～5月頃開園／大人1,800円ほか ※詳細はHPをご確認ください



COLUMN

天然の冷蔵庫!? 不思議な風穴

高鉢山の北斜面にある「風穴」。内部は真夏でも10℃前後に保たれており、昔から農産物などの貯蔵に活用されてきました。冷気の秘密は「おむすび山」特有の安山岩。山頂から崩落した安山岩の岩塊は、斜面に堆積するときに隙間をつくります。山上から吹きおろす暖気が、地中の空隙（くうげき）を通るうちにひんやり冷やされる仕組みです。



高鉢山の風穴
綾歌郡綾川町西分乙472-5
（道の駅滝宮から車で約23分）

※価格は全て税込みです ※P表記…大=大型バス、中=中型バス、マ=マイクロバス

